

# 【宇検村立名柄小学校】

## 勤務校での仕事の様子や魅力について

宇検村立名柄小中学校は、宇検村の名柄集落に位置し小学生7人、中学生4人、計11人の極小規模校です。校庭が海に面した学校で、校舎には木をふんだんに使った吹き抜けがあります。委員会活動や行事は、小中一緒に行なっていますが、人数が少ないため児童生徒全員が責任者としての役割を担っています。また、小中に関わらず仲が良く、お互いに支え合っています。児童生徒たちがのびのびしていて温かい雰囲気の学校です。校区は名柄と佐念の2集落で、日頃から地域の方の声掛けや協力によって見守られていて、児童生徒たちは地域貢献活動などを積極的に行ってています。

## 離島での生活の様子や魅力について

これまで観光客として10年間ほど何度も訪れていました。自然はもちろんのこと、シマ唄や奄美の伝統行事が色濃く受け継がれている宇検村に移住したかったので、何度か役場に行き、住居や生活についての相談をして、村の定住促進住宅に入居することができました。

1人で住むには広い空間で、阿室集落にある3LDKの一軒家です。(家賃は月3万円)すぐ隣に阿室小中学校があり、29世帯、52人が住む小さな集落ですが、住民の方々はとても穏やかで親切な方ばかりです。子供から年配の方まで、集落清掃などの定期的な集まりだけでなく、豊年祭、アラセツ・シバサシ行事、八月踊り、十五夜相撲など、伝統的な行事を行っています。土俵やアシャゲ(東屋のようなもの)にみんなが集まって、おしゃべりをしている光景は本当にほのぼのとしていて心温まります。市街地から離れているので、買い物は車で1時間20分くらいかかり、週に1回程度、生活用品や食料品の買い出しに行きます。しかし、集落内にも小さいながらも商店があるので、それほど不便を感じることはありません。海がすぐ近くにあるので、休日は釣りやSUPをしたり、また三味線を弾いて、集落の方と大好きなシマ唄を唄ったりして過ごしています。阿室だけでなく近くの集落の方に食事に招いてもらったりして、シマの優しい人たちとの交流を通して、楽しんで生活しています。

## これから離島に赴任する方へのメッセージ

離島には本土や都会にはない独特の文化や風習があり、慣れるには時間がかかる場合もあると思います。しかし、離島だからこそできる教育や関わりがあります。それを楽しみながら、自身の視野や可能性を広げることで、より充実した人生が送れると思うので、勇気をもって飛び込んでみるのもいいと思います。

